平成28年４月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年12月４日

上場会社名　　株式会社 ロック・フィールド　　上場取引所　東
コード番号　　2910　　ＵＲＬ　http://www.rockfield.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役会長兼最高経営責任者　　（氏名）岩田 弘三
問合せ先責任者　（役職名）上席執行役員管理本部長兼経理部部長　（氏名）伊澤 修　　ＴＥＬ　078-435-2800

四半期報告書提出予定日　　平成27年12月10日　　配当支払開始予定日　平成28年１月18日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成28年４月期第２四半期の連結業績（平成27年５月１日～平成27年10月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年４月期第２四半期	24,272	2.6	888	47.1	903	44.7	543	82.3
27年４月期第２四半期	23,660	△1.3	604	7.4	624	5.3	297	△7.3

（注）包括利益　　28年４月期第２四半期　　524百万円（58.7%）　　27年４月期第２四半期　　330百万円（5.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年４月期第２四半期	40.90	―
27年４月期第２四半期	22.43	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年４月期第２四半期	29,912	24,164	80.8	1,819.58
27年４月期	29,339	23,998	81.8	1,807.11

（参考）自己資本　　28年４月期第２四半期　　24,164百万円　　27年４月期　　23,998百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年４月期	―	18.00	―	27.00	45.00
28年４月期	―	18.00			
28年４月期（予想）			―	27.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成28年４月期の連結業績予想（平成27年５月１日～平成28年４月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,201	2.7	2,150	8.8	2,180	8.6	1,318	11.2	99.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（注）詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年４月期２Ｑ	13,394,374株	27年４月期	13,394,374株
②　期末自己株式数	28年４月期２Ｑ	114,081株	27年４月期	114,081株
③　期中平均株式数（四半期累計）	28年４月期２Ｑ	13,280,293株	27年４月期２Ｑ	13,280,481株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は平成27年12月７日に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については開催後、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（平成27年５月１日～平成27年10月31日）におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に企業収益の改善による設備投資の緩やかな増加や雇用・所得環境の改善により個人消費が底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が続いております。

このような状況の中、当社は「The Mirai Salad Company」を目指し、商品価値をお客様にしっかりとお伝えすることや、閉店間際までしっかりと商品を充実させることなど、お客様にいつでもご満足いただける売場づくりに継続して取り組んでまいりました。また、洋風料理メニューに特化したＲＦ１店舗として「Au Bon Deli（オーボンデリ）」をジェイアール名古屋タカシマヤ店に新規出店したほか、高島屋横浜店、ジェイアール名古屋タカシマヤ店など大規模店舗のリニューアルに取り組み、競合他社との差別化を図ってまいりました。商品施策においては、原材料価格の高騰に対応した価格政策により客単価が上昇したことや秋口における野菜価格高騰の際にも安定的にサラダ系商品を供給したことなどがお客様から高い支持をいただき、売上高の伸長に繋がりました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		平成27年４月期 第２四半期（連結）		平成28年４月期 第２四半期（連結）		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
		百万円	%	百万円	%	%
ＲＦ１	サラダ	9,840	41.6	9,683	39.9	98.4
	フライ	4,018	17.0	3,975	16.4	98.9
	その他そうざい	3,015	12.8	3,059	12.6	101.5
	小計	16,873	71.4	16,717	68.9	99.1
グリーン・グルメ		2,091	8.8	2,713	11.2	129.8
いとはん		1,736	7.3	1,951	8.0	112.4
神戸コロッケ		1,494	6.3	1,352	5.6	90.5
ベジテリア		860	3.6	797	3.3	92.7
融合		467	2.0	533	2.2	114.1
その他		137	0.6	205	0.8	150.0
合計		23,660	100.0	24,272	100.0	102.6

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「ＲＦ１」ブランドにおきましては、食と健康をテーマに健康に寄与する食生活・食習慣の提案としてサラダ系商品を充実させるとともに、野菜の栄養価を分かりやすく訴求した「紫の習慣アントシアニン10品目のサラダ」や「骨活グリーンサラダ」などの展開を行いました。また、夏休み・お盆・シルバーウィークなど家族が集まる時期に合わせたごちそうメニューの提案として、「牛肉のグリル　霜降りひらたけのロースト添え」がお客様からご好評いただきました。その結果、売上高は16,717百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

「グリーン・グルメ」ブランドにおきましては、ＲＦ１・いとはん・融合などの商品を組み合わせたセレクトショップとして、各ブランドから季節に合わせた商品を幅広く品揃えるとともに、特にいとはんの和そうざいの展開を強化するなど、お客様のニーズに合わせた商品展開を行いました。前年同期よりＲＦ１からグリーン・グルメへの業態変更を７店舗行った結果、売上高417百万円がグリーン・グルメの売上高となりました。その結果、売上高は2,713百万円（前年同期比29.8%増）となりました。

「いとはん」ブランドにおきましては、旬の素材を使用した和さらだを中心に和え物やおかずの提案として「無花果と燻製チキンの和さらだ」、「舞茸・エリンギと野菜のおろし和え」など季節感を感じられる商品展開を行いました。また、大規模店舗のリニューアルに合わせ新規出店をした店舗もお客様からご支持をいただき、好調に推移いたしました。その結果、売上高は1,951百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、コロッケの品揃え強化として、「黒毛和牛のビーフコロッケ」などの導入や北海道北見市端野町産の新じゃがの訴求を行いました。その結果、売上高は1,352百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、お客様の健康サポートをテーマに、日常的な野菜の摂取を促すため野菜とフルーツを組み合わせた商品の提案として「カーボロネロ＆アボカド・バナナ」や「丹波篠山の黒豆＜ライスミルク入り＞」などの新商品の展開を行いました。また、野菜の栄養素や色に着目して商品を紹介するリーフレットを作成し、情報発信とリピーターの獲得に努めました。その結果、 売上高は797百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

「融合」ブランドにおきましては、アジア料理をより身近に感じていただくため、アジアの代表的な食材であるパクチーや青パパイヤを使用したサラダを提案するとともに、ご飯に合う商品として「空心菜のにんにく唐辛子風味」や「やわらかロースの黒酢酢豚」などの展開を行いました。また、お酒の種類に合わせた商品提案や中華料理と相性の良いベトナム料理の買い合わせの提案を行いました。その結果、売上高は533百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

この結果、当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は24,272百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は888百万円（前年同期比47.1%増）、経常利益は903百万円（前年同期比44.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は543百万円（前年同期比82.3%増）となりました。

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（注）上記金額には消費税等は含まれておりません。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて572百万円増加し、29,912百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加190百万円、売掛金の増加295百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて406百万円増加し、5,747百万円となりました。これは主に、買掛金の増加104百万円、賞与引当金の増加112百万円等によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて165百万円増加し、24,164百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は80.8%、1株当たり純資産額は1,819円58銭となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年６月９日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

ただし、事業環境の変化等による今後の業績予想に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日）等を第１四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第２四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,479	10,670
売掛金	3,911	4,207
製品	64	63
仕掛品	93	117
原材料及び貯蔵品	439	409
その他	452	542
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,440	16,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,044	6,878
土地	2,948	2,948
その他（純額）	1,738	1,903
有形固定資産合計	11,731	11,730
無形固定資産		
その他	500	432
無形固定資産合計	500	432
投資その他の資産		
その他	1,677	1,748
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,667	1,738
固定資産合計	13,899	13,901
資産合計	29,339	29,912
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,199	1,304
1年内返済予定の長期借入金	10	61
未払法人税等	470	390
賞与引当金	493	605
その他	2,706	2,936
流動負債合計	4,881	5,297
固定負債		
長期借入金	87	32
その他	372	417
固定負債合計	459	449
負債合計	5,340	5,747

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年10月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	12,619	12,804
自己株式	△210	△210
株主資本合計	23,814	23,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	92
為替換算調整勘定	75	73
その他の包括利益累計額合計	184	165
純資産合計	23,998	24,164
負債純資産合計	29,339	29,912

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年５月１日 至　平成26年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年５月１日 至　平成27年10月31日）
売上高	23,660	24,272
売上原価	10,062	10,172
売上総利益	13,597	14,100
販売費及び一般管理費	※ 12,993	※ 13,211
営業利益	604	888
営業外収益		
受取配当金	4	4
その他	22	13
営業外収益合計	26	17
営業外費用		
為替差損	4	－
その他	1	2
営業外費用合計	6	2
経常利益	624	903
特別損失		
固定資産除却損	18	9
減損損失	73	－
役員退職功労金	－	20
特別損失合計	91	29
税金等調整前四半期純利益	532	874
法人税等	234	330
四半期純利益	297	543
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	297	543

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年５月１日 至　平成26年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年５月１日 至　平成27年10月31日）
四半期純利益	297	543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	△17
為替換算調整勘定	9	△1
その他の包括利益合計	32	△19
四半期包括利益	330	524
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	330	524
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年５月１日 至　平成26年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年５月１日 至　平成27年10月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	532	874
減価償却費	834	794
賞与引当金の増減額（△は減少）	12	112
受取利息及び受取配当金	△5	△5
固定資産除却損	18	9
減損損失	73	－
売上債権の増減額（△は増加）	△73	△296
たな卸資産の増減額（△は増加）	△10	5
仕入債務の増減額（△は減少）	125	104
その他	83	187
小計	1,591	1,786
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△234	△426
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,362	1,364
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△20
有形固定資産の取得による支出	△296	△409
無形固定資産の取得による支出	△62	△45
長期前払費用の取得による支出	△65	△190
差入保証金の差入による支出	△11	△15
差入保証金の回収による収入	18	4
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438	△676
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5	△5
リース債務の返済による支出	△201	△153
自己株式の取得による支出	△0	－
配当金の支払額	△292	△357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△499	△516
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	429	170
現金及び現金同等物の期首残高	8,331	10,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 8,760	※ 10,250

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。